

高齢者の認知機能低下と自動車運転

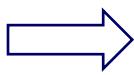
秋山治彦(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、日本認知症学会理事長)

資料 4



Jeremy Hunt (secretary of state for health, UK)
Margaret Chan (director general, WHO)
Yves Leterme (deputy secretary general, OECD)
and
Ministers from Canada, France, Germany, Italy,
Japan, Russia, UK, US, EU

G8認知症サミット
(2013.12.11)

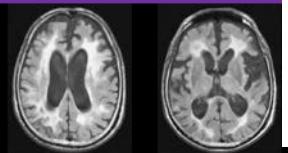
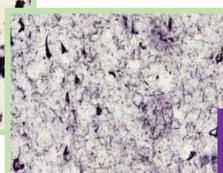
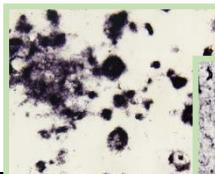


認知症に対する世界的アクションに関するWHO大臣級会合
(2015.3.16-17 at Geneva)



サミットで共有された認識(現状への理解)

- 世界で3,500万人(→今は4600万人)を超える人々が認知症を患い、この数字が20年ごとに“2倍”になることが予測されている。
- 世界で認知症のためにかかっている推定コストは6,040億ドルである(→2018年に1兆ドル、2030年に2兆ドルを超す見込み)。
- 認知症は正常な老化の一部ではない(=脳の疾患によって生じる一群の症候である)。
- ...
- ...
- ...

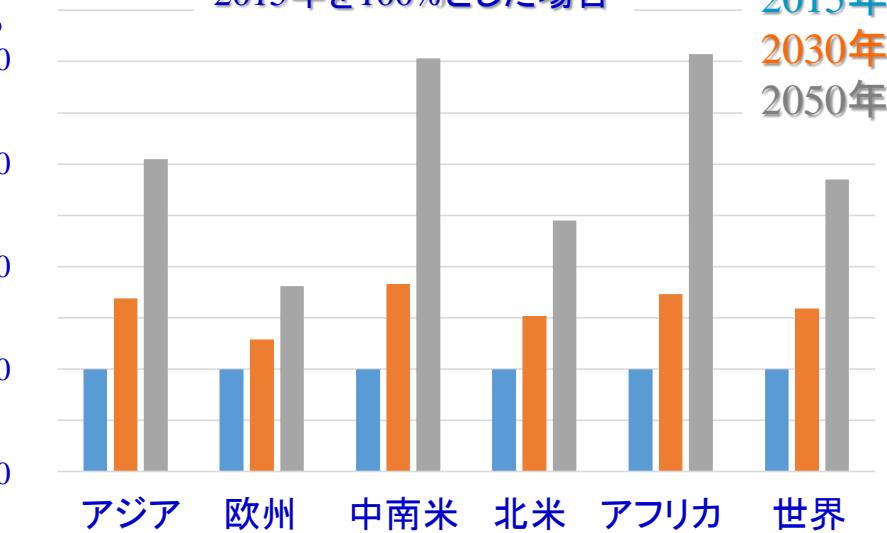


アルツハイマー病の脳病理

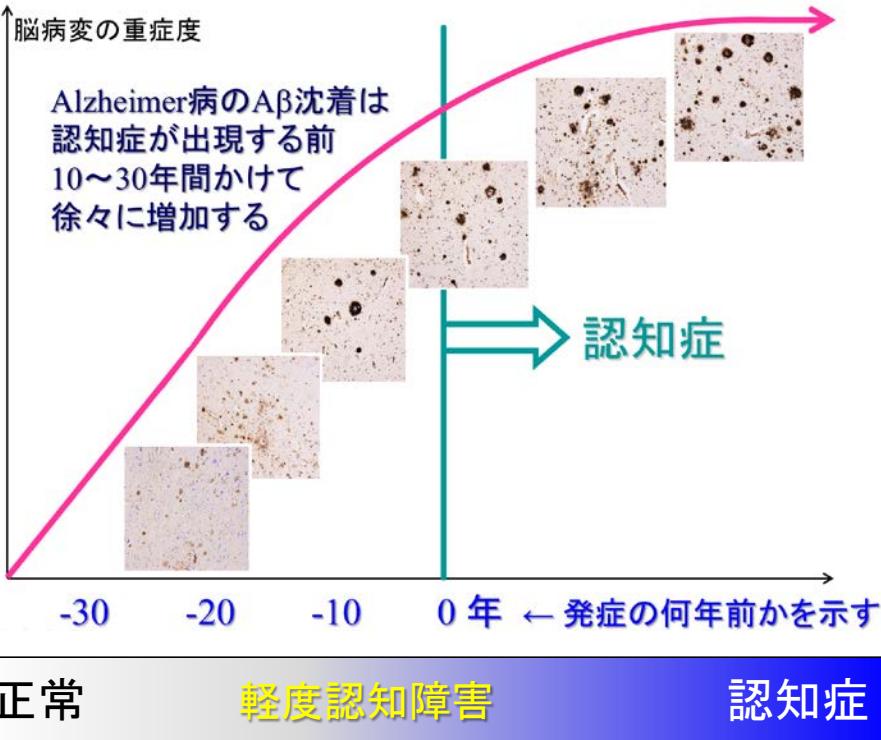
血管性認知症のMRI画像

認知症の増加(2015~2050年)

2015年を100%とした場合



世界が日本の認知症への対応
(対策)を見ている



認知症疾患の特徴

- 認知症発症、未発症、正常の間に明瞭な境界があるわけではない～認知機能正常から軽度認知障害、認知症へと徐々に移行する。
- したがって環境要因によっても受診行動は変わり得る(例:コリンエステラーゼ阻害薬出現後の早期受診の増加～初診時のMMSEのピークが15～19点から20～24点へと軽症化した。2013年、日本認知症学会調査)。
- 現在、「認知症ではないが、アルツハイマー病である」という診断が可能になりつつある。
- 原因疾患によって異なる認知機能領域が障害される。

➤ 「認知症であるかどうか」ではなく、運転技能・適性の評価にもとづいて運転を許可するシステムを構築する必要がある。

- 認知機能低下(特に軽度・早期の場合)と運転技能・適性との関係を明確にするために、多様な領域の専門家が集まって共同研究を進め、事故事例分析を含む様々なデータ集積・調査・解析等を行う(低下した認知機能領域のパターンの違いにより、また運転する場所により運転適性は変わり得る)
- 運転技能・適性の評価にあたっては、シミュレーター、実車(教習車)、慣れた自家用車の違い、教習所内と路上の違い、等を含め検討する必要がある(実車であっても教習所内のみでは、実際の路上での安全運転に必要な認知、予測、判断、操作等の総合的な能力評価には不十分と思われる)

➤ 交通インフラ・サービスの整備・充実をはかる(運転を止めても困らないような公共交通網の(再)整備等～運転免許返納後の移動手段の確保、生活の質の保証－社会から孤立しないことを含めてー)。

- 公共交通網が発達した地域(都市部)では、タクシー料金補助(利用券等)、公共交通機関の無料化や割引バス等の支給、駅・停留所の追加整備など
- 公共交通網の不十分な地域においては、コミュニティバス・デマンドタクシーの運行等、代替交通手段の提供等…地域の状況により適切な“環境整備”的方法は異なる
- 食品等生活必需品の出張販売や配達サービス等の生活支援
- 既に行われている各地の試みの内容、実施状況、成功の度合い、成否の背景となるそれぞれの地域の特徴等を解析して施策に反映
- 自治体の財政基盤の違いでサービスに差が生じないように国から適切な支援を実施する

➤ 交通安全対策・高齢運転者の安全支援:事故のリスクを下げる同時に、万一の事故の際の被害の低減をはかる。

- 交通インフラ全般の安全対策の加速(ガードレール・歩道の整備、通学路への自動車進入禁止の強化、高速道路・インターチェンジの分岐点における色分け等々の逆走防止策)
- 視覚・聴覚等の高齢者の感覚機能低下に配慮した交通標識等の開発、設置
- 自動ブレーキやセンサー(対車両、対人)等の衝突回避装置、ペダル踏み間違い防止装置、走行可能な地域や時間帯の限定機能(GPSの利用)等、および、これら装備自体の標準化と、新車への標準装備、既存車両への後付け搭載、購入補助等
- 限定的な機能(大きさ、スピード上限、走行範囲など)と高い安全性を持つ高齢者専用自動車の開発と、そのための運転免許制度、交通規則の検討